

特別陳列

磯野・金蔵寺の 仏教美術



本堂須弥壇

十六羅漢像

令和3年

10月13日(水) ▶ 12月6日(月) 午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

会場／高月観音の里歴史民俗資料館2階展示室

主 催：高月観音の里歴史民俗資料館 ■ 協 力：長浜市高月町磯野・金蔵寺

同時開催

高月の史跡・古墳と出土品



古保利古墳群

銅鏃



高月観音の里
歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229
TEL&FAX.0749-85-2273
E-mail : takatsuki-shiryokan@city.nagahama.lg.jp
https://www.city.nagahama.lg.jp/section/takatsukirekimin/

◎入館料／一般 300円(団体250円)
小中学生 150円(団体130円)

※団体は20名以上です ※[長浜市・米原市]の小中学生は無料です。
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方
及びその付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

◎休館日／火曜日・祝日の翌日

新型コロナウイルス感染防止のため、ご入館の際は①マスクの着用、②検温、③手指の消毒、④係員の誘導、⑤代表者の連絡先の記入にご協力ください。
なお、感染の状況によっては、特別陳列の開催を延期・中止する場合があります。

特別陳列

磯野・金蔵寺の 仏教美術



金蔵寺

長浜市高月町磯野は余呉川沿岸に広がる集落です。式内社赤見神社が鎮座し、女装する「嫁オコナイ」が知られています。また戦国時代には浅井氏に仕えた有力武将・磯野氏を輩出し、余呉川の対岸磯野山には磯野山城址が、集落内には同氏の居館跡が残されています。

金蔵寺は、黄檗宗（本山は京都府宇治市の萬福寺）に属する寺院です。黄檗寺院は湖北地方には少なく、長浜市内では唯一の存在です。寺伝によれば、平安時代・延長年間（923～31）の草創といい、もとは天台宗に属して幸蔵寺と号しましたが、文和年間（1352～56）、兵火にかかり、わずか一堂を残して焼失したといえます。降って江戸時代の延宝3年（1675）、僧雲岩が再興し、宝正山金蔵寺と改め、黄檗宗に転宗したと伝えます。

金蔵寺には、本尊釈迦如来像をはじめ、阿弥陀如来像（平安時代）、十六羅漢像、仏画類や大般若経（長浜市指定文化財、鎌倉～南北朝時代）など数多くの仏教美術・文化財を伝えています。

この企画展示では、普段公開されていない金蔵寺の仏教美術を展示公開し、湖北地方の信仰文化の一端に触れていただく機会とします。



大般若波羅蜜多經 第130(識語部分)



十界八大地獄図

■主な展示資料

- ・木造釈迦如来坐像 1 軀
- ・木造阿弥陀如来坐像 1 軀
- ・木造十六羅漢像 16 軀
- ・十界八大地獄図 1 幅
- ・隠元禅師像 1 幅
- ・雲岩和尚像 1 幅
- ・雲岩和尚墨蹟(志源印可状) 1 面
- ・大般若波羅蜜多經 長浜市指定文化財 10 帖 (558帖のうち) ほか



雲岩和尚像



隠元禅師像



釈迦如来坐像



十六羅漢像



阿弥陀如来坐像

展示説明会

日時 令和3年11月13日(土)午後1時30分～
場所 高月観音の里歴史民俗資料館 2階展示室

同時開催

高月の史跡・古墳と出土品

湖北地方は、古来、交通の要衝で、各地との交流も盛んにおこなわれていました。高月町の古保利古墳群からは、大陸との関わりを示す漢鏡、銅鏃などの貴重な考古資料が数多く出土しています。

本展では、市域（高月町）に所在する史跡・古墳とその関連出土品を展示紹介し、市民や子どもたちが地域の歴史を再発見する機会とします。

■主な展示資料

- 高月南遺跡 子持勾玉2箇 ●物部遺跡 巴形銅器1個
- 古保利古墳群 銅鏡2枚、銅鏃3点、鉄鏃2点、土師器1点、ベンガラ入り須恵器杯1点



土師器

子持勾玉 (重美)